

novembro 2025

La Harmonio

N-ro 252

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia
Eldonejo : Rondo Harmonia



2025 年「エスペラントの日」ポスター

エスペラントの第一書 (Unua Libro) は複数の言語で発行されており、一番目のロシア語版は 1887 年 7 月 26 日に発行されました。この発行日が「エスペラントの日」です。上のポスターはエスペラント版です。日本語を含む、各国語版が次のアドレスからダウンロードできます。

<https://esperantoporun.org/eo/esperanto-tago-2025/>

AI によるザメンホフのイラスト

下のイラストは、ChatGPT にザメンホフの写真をジブリ風のイラストに変換してもらったものです。

AI (人工知能) はエスペラント運動に大きな影響を与えますので、今後注目していかなければなりません。

本号でも p.26 に AI に関する記事があります。



☆ ENHAVO （目次） ☆

2026～2028 年 RH 組織委員選挙立候補の受付		p. 3
第 110 回世界エスperanto大会に参加して	山口眞一	p. 4
柴山純一さんが 2025 年の小坂賞を受賞		p.7
インドネシア IJK と海外での通信手段	堀田有里	p. 8
岡山大会前の広島での交流会	山田寛人	p.10
第 11 回アジア-オセアニア エスperanto大会		p.12
第 112 回日本エスperanto大会		
35 人の高校生がボランティアとして参加してくれました	福井政春	p.13
Nara Esperanto-Societo kaj Societo en Nara por la honoro de Hasegaŭa Teru	TAKEMORI Hirotoŝi	p.16
長谷川テル顕彰の旅	森川和徳	p.18
信州大エスperanto研究会第 1 回同窓会を開催	山口眞一	p.19
エスperantoの冠詞について（3）	亭島吉秀	p.20
最近出版されたハードカバーの本		p.23
近況	三浦伸夫	p.24
ChatGPT を使ってみた	田中 昭	p.26
La Harmonio アーカイブについて		p.29
エスperanto活動の思い出	東野正明	p.30

2026～2028 年 RH 組織委員選挙立候補の受付

2026～2028 年の RH 組織委員（RH における役員の役割）への立候補を下記のとおり受け付けます。立候補をお待ちしています。

なお、2010 年度までは RH 組織委員選挙を毎年行っていましたが、2011 年から 3 年毎に変更しています。

1. 立候補資格

2023～2025 年の 3 年間に無断での会費滞納がないこと。その間に入会された会員の場合は、入会後の会費に滞納がないこと。

2. 立候補の方法

2026 年 1 月 31 日までに文面（電子メール可、様式自由）にて選挙管理委員（下記）まで届け出を行ってください。

〒567-0048 大阪府茨木市北春日丘 2-10-4-16 後藤 美和
メール migoto@hkg.odn.ne.jp

また、2026 年 1 月 31 日までに、選挙公報の原稿を本誌編集部に送付してください。

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎尻江 13-8 森川和徳
メール kz_morikawa@yahoo.co.jp

原稿の内容は下記のとおりです。

1. 立候補者の自己紹介、経歴

氏名、年齢、性別、職業、住所、入会年、活動歴

2. 現在の RH 活動およびエスペラント運動についての意見

3. 2026～2028 年度、どのような活動を目指すのか。

※1000 字以内。顔写真を付けてください。

3. 投票資格

2023～2025 年の 3 年間の会費を納入済みの会員

4. 投票及び開票

2026 年 2 月に投票資格をお持ちの方に選挙公報と投票用紙をお送りします。投票用紙に記入し、その投票用紙を返信用封筒に入れ、選挙管理委員まで郵送してください。選挙管理委員が開票します。結果は、本誌 253 号（2026 年 11 月発行）にて発表します。

第 110 回世界エスペラント大会に参加して

山口 眞一（名古屋市）

チェコのブルノ市で開催された第 110 回世界エスペラント大会に参加してきましたので、その体験と感想を少々書かせていただきます。

今大会では Telegram というチャットアプリを通じて、大会からの公式のお知らせや、参加者同士での情報交換、質疑応答ができるようになっていたので、私もこれを使いました。例えば、7 月 25 日にウィーンについた日に、「誰かウィーンでいっしょに食事しませんか？」とメッセージを流したところ、早速ドイツの参加者 Ernstさんから返事があり、翌日ウィーン中央駅近くのレストランでランチをしました。

そのランチ後に、ブルノからウィーンへは列車でしたが、前日の大雨の影響でダイヤが大幅に乱れ、25 日夕刻から予定されていた Movada Foiro（運動見本市）には、私は仏教エスペランチスト連盟（BLE）責任者として出店するはずだったので、あせりました。ブルノ駅には予定から大きく遅れましたが、タクシーをとばして時間ギリギリに大会会場に到着することができました。

私が参加した番組についてそれぞれに記すときりがないので、番組名だけを以下に列挙します。

Movada Foiro, Solena Inaŭguro, Nacia Vespero, Internacia Kongresa Universitato, 5 Prelegoj, Faka Kunsido de Ateistoj, 2 Muzikaj Koncertoj, 2 Duontagaj Ekskursoj, Tuttaga Ekskurso, Bankedo.

これ以外に私自身が BLE 事務局長として、仏教分科会で講演をしました。内容としては、2024 年の日韓共同エスペラント大会の仏教分科会での講演 “Okcidento kaj Oriento - Kiel Okcidento akceptis budhismon kaj influis Orientan budhismon?” をほぼそのまま踏襲しました。

第 110 回世界大会はエスペラント大会は 7 月 26 日から 8 月 2 日に開催されました。参加申込者は 65 か国から 1132 人。日本からは 27 人でした。この大会で世界エスペラント協会（UEA）の役員改選が行われ、新会長にブラジルの Fernando Maia Jr.（地質学者 42 歳）が選出されました。
（編集部）



Bankedo (宴会、懇親会)



仏教分科会での講演

偶然ではありますが、私がブルノを後にしてウィーンの街を観光していると、突然 “Saluton!” と呼びかけられました。私には見覚えのない男女でしたが、どうやら私の講演を聞いてくださっていた方のように、「とても興味深い内容だった」とおっしゃってくださいました。



今大会でいちばん印象深かったのは、開会式においてなされた、ザメンホフの曾孫 Margaret Zaleski-Zamenhof による演説でした。大会テーマ “Esperanto kaj teknologioj kiel pontoj de paco kaj konfido inter la popoloj” にそって、彼女の父、すなわちザメンホフの孫 Louis-Christophe Zaleski-Zamenhof（橋梁建設技術者）が「橋の建設には責任がついてまわる」と常々語っていたことを紹介し、技術進化の功績を称えるいっぽうで、それが倫理によって制御される必要を訴えるものでした。結語をここに引用します。

Ni uzu teknologion ne nur por rapideco, sed por respekto. Ni uzu Esperanton ne nur por paroli, sed por aŭskulti. Kaj ni restu konstruantoj de pontoj — ĉar la mondo bezonas pontojn. Kaj la mondo bezonas nin.
全文は下記に掲載されています。

https://uea.org/pdf/uk2025/drako_de_brno2.pdf

残念ながら仕事の都合上、全期間参加することはできませんでしたが、国際大会での学びや刺激を大いに堪能してきました。

柴山純一さんが 2025 年の小坂賞を受賞

小坂賞は、1919 年に JEI（当時は日本エスペラント学会）を創立した小坂狷二（おさかけんじ）の功績を記念する賞です。毎年 JEI（日本エスペラント協会）がエスペラント運動に貢献した個人または団体に贈っています。

2025 年の小坂賞に柴山純一さん（1972 年兵庫市民 RH に入会、横浜市在住）が選ばれました。

受賞理由は次のとおりです。



9 月 21 日の受賞講演にて

柴山さんは、出版、大会、雑誌編集など、JEI のさまざまな分野の活動に長年携わってこられました。理事を務められていた期間も長く、特に 1999 年から 2012 年までは、理事長として日本のエスペラント運動を牽引されました。この期間には、2006 年の「エスペラント日本語辞典」発刊と 2007 年の横浜での世界エスペラント大会開催という、日本のエスペラント界にとって大きな出来事がありましたが、柴山さんはそのいずれにも多大な尽力をされました。

また、柴山さんは、現在も NPO 法人エスペラントよこはまの代表理事を務められているように、地域団体での活動にも熱心に取り組んでいらっしやいます。

（La Revuo Orienta 誌 2025 年 10 月号より抜粋）

柴山さんは本誌にも多数寄稿されています。以下はその一部です。

- ・ 221 号（2009 年 8 月）
「ニュージーランドでエスペランチストと会って」
- ・ 248 号（2021 年 10 月）
「1968 年から 70 年代の思い出」
- ・ 251 号（2024 年 11 月）
「第 3 回日韓共同開催エスペラント大会
En korea antikva urbo --- Kongreso Japano-Korea plus Ĉina」

（編集部）

インドネシア IJK と海外での通信手段

堀田 有里（枚方市）

インドネシアで行われる世界青年大会（la 81-a Internacia Junulara Kongreso 8月9日～16日、33か国140人参加）に青年でもないのに参加したのはアジアで行われる記念すべき大会なのに参加者が少ない、年齢に関係なく参加して盛り上げてほしいという熱心な呼びかけがきっかけだった。

リゾートホテルで行われ、青年大会なので食事も込みの料金で安い。開催地もチサルア（ボゴール）という高地で涼しく、一人部屋で気兼ねなく優雅に過ごせそう、枯れ木も山のにぎわいになれば、と思って参加を決めた。ホームページはよく整備され、画像や映像も豊富でわかりやすく、誰でも必要な情報を簡単に入手することができた。連絡手段として Telegram が推奨されていた。初めて聞く名前だったが、海外ではよく使われているようだ。

IJK2025en Indonezio というグループができていて Ekskursoj、Vojaĝoj kaj karavanoj、Anoncoj、Programo 等に分かれている。Anoncoj には最新の情報が出る。Ekskursoj は集合時間などの他、体調不良で行けなくなった、等の連絡が行きかう。大会前も大会中もし質問や意見、助言などがすぐに各国の参加者によるチャットが頻繁に行きかい、画像や写真も表示された。Kongresa Libro もないけれど、すべての情報はここで共有する。感心したのが Perditaj kaj trovitaj というスレッドで、落とし物をしたり、見つけた人が画像で投稿するのですぐに落とし主がわかり、受け渡しもできる。日本大会の運営にかかわって長いが、落とし物の後始末にはいつも悩まされている。この方法を取り入れられないかと思った。

日本人間では北川郁子さん（川崎市）が作成した LINE グループで情報交換、共有を行っていた。

IJK でもスマホが必須。格安の eSIM を購入して現地で交換する方法をとる人が多かった。データ通信専用で使うならいつも使用しているポータブル Wi-Fi を使うほうが良いという夫の助言と協力のもと、使い慣

れた方法をとることにした。電話が必要であれば、必要な時だけスマホを切り替えればよいと割り切って出発。

会場につくと高地のせいか、アンテナがほとんど表示されず、不安になった。私の部屋は受付のある建物であったせいか、ホテルの Wi-Fi がそのまま使え、Discord も LINE も問題なく使用できた。

帰国寸前、空港に向かうタクシーにパスポート、スマホ、Wi-fi、財布すべて入ったウエストポーチを置き忘れるという大ボカをやってしまった。しかもタクシーは白タクで連絡のしようがない。空港の警察に行き、届け出をしたが、翌日は日曜日であり、独立記念日で大使館も休みという絶望的な状況。不幸中の幸いが PC は手荷物の中にあっただので、メールのやり取りはできた。特に Telegram が役に立った。ホテル、空港の共有の Wi-Fi しか使えなかったせいか、Discord は開けなかった。LINE は PC に入っていなかったが telegram と Gmail が普通に使用できた。特に telegram は画像もチャットも使えるので、連絡を取り合うのに役立ち助かった。

ポーチはタクシーの運転手の息子が発見し、メールで連絡をくれた。1 日遅れではあったが現金もパスポートもカードもすべて手元にもどった。



IJK 記念写真 (UEA esperanto 誌 11 月号より)

岡山大会前の広島での交流会

山田 ^{かんと} 寛人（広島市）

9月17日(水) 17:00～21:00

広島エスperantセンター（広島市東区）にて

参加者： Ges-roj

韓国から Feliça, Reon, Kaja, Kanguruo

ドイツから Bogu

広島から Işibe, Nişida, Kimura, Hukami, Jamada

岡山での大会前に韓国から4人、ドイツから1人のエスperanティストが広島エスperantセンターを訪れて夕食会をした。広島からは5人。どうなることかと心配していたが、良い参加者に恵まれて、思いがけず楽しい時間になった。

スーパーで買った弁当を食べながら10人全員が自己紹介をしたが、それだけで2時間近くの交流会は終わった。まったくの初心者も含めて全員がほとんど均等に時間を使っていた。参加者一人一人がこの時間を楽し



第11回アジア-オセアニア エスperant大会は9月20日から22日に岡山国際交流センター（岡山市）で開催され、352人が参加しました。海外からこの大会に参加された方々が広島を訪問されました。その報告を野原エミさんを通していただきました。（編集部）

しもうと活発に、しかし上品にふるまった結果だと思う。

ホワイトボードには、名前だけを書くことにしたが、これがなかなか良いアイデアだった。漢字に興味のあるドイツ人のために名前の漢字も書いた。エスペラントで自分の名前の漢字がどの漢字なのかを説明したり、その漢字の意味を説明したりするのだが、それだけでもおもしろい会話になる。



一度にたくさんの外国人に会うと、名前がなかなか覚えられない。しかし、ここに名前を書くことで、名前をめぐる質疑応答が盛り上がり、どの名前も印象に残った。自己紹介では仕事や趣味の話から話題が広がっていくことが多いが、そういう話はあまり出てこず、名前の紹介が中心になった。

改めてエスペラントのおもしろさを味わえた。言いたいことを言うためにエスペラントを使うというよりも、エスペラントを使うためにエスペラントで話すという感じ。うまく通じない時に、何度も言い換えたり、別の人が助け舟を出したりする。自分だけが理解できても、そこにいる人たち全員が理解できなければおもしろくならないからだ。

エスペラントだから良いコミュニケーションができるというわけではないが、エスペラントを使う人にはそういう傾向が強い。初心者参加者にも良いイメージを持ってもらえたのではないかなと思う。

第 11 回アジア-オセアニア エスペラント大会

La 11-a Azia-Oceania Kongreso de Esperanto

第 112 回日本エスペラント大会

La 112-a Japana Esperanto-Kongreso



岡山市で国際エスペラント大会開催

9 月 20 日(土)から 22 日(月)に岡山国際交流センター（岡山市）で開催されました。参加登録者数は 389 人(国内 298、海外 91)、そのうち当日来場者数は 352 人(国内 268、海外 84)。海外参加者が多く、国際色豊かな雰囲気でした。若い人たちの活躍も目立ちました。

大会運営での Rondo Harmonia 関係者の活躍は次のとおりでした。

[敬称略]

- ・ 笹沼一弘：JEI(日本エスペラント協会)大会組織部長として活躍
- ・ 福井政春：岡山エスペラント会の会長として活躍
- ・ 堀田裕彦：写真撮影などで活躍
- ・ 堀田有里：大会の受付で活躍
- ・ 柴山純一：小坂賞受賞講演、研究発表会で講演
- ・ 石部敦子：JEI 大会組織部部員
- ・ 森川和徳：公開番組と閉会式のスライド担当



閉会式での笹沼さんと福井さん
(左から 1 人目と 2 人目)



記念写真
(撮影：堀田裕彦)



岡山城への半日遠足
(撮影：堀江さち)

第 11 回アジア-オセアニア エスペラント大会

第 112 回日本エスペラント大会

35 人の高校生がボランティアとして参加してくれました

福井 政春（倉敷市）

第 11 回アジア-オセアニア大会・第 112 回日本大会が日本の岡山市で開催されました。大会には 387 名が参加し、そのうち 35 名は高校生（15～18 歳）で、ボランティアとして参加しました。

彼らの大半は大会直前にエスペラントを学び始めたばかりでした。

1. アイデアを思いついたきっかけ

現在、ボランティア活動が大学入試の調査書などで重視されています。そこで私は、「エスペラント大会の運営を手伝うボランティアとして高校生に参加してもらえば、関心を持ってくれるのではないか」と考えました。

2. 実現までの経緯

私は 15 の高校に対し、提案書、挨拶文、そして大きなポスターを送りました。大会は 9 月 20 日に開催予定で、手紙は 8 月 15 日に発送しました。ボランティア参加の申込締切は 9 月 5 日としました。

提案書には次のように記しました。

「ボランティアとして参加を希望する場合は、大会前に少なくとも数時間エスペラントを学習してください。」

予想以上の反応があり、30 名を超える生徒が申込してくれました。結果として、10 校から合計 35 名のボランティアが集まりました（高 1～高 3）。

私はすぐに第 1 回から第 4 回までの授業を準備し、それらを YouTube にアップロードして全員に案内しました。1 回の授業は 25 分程度です。

その後、大会 1 週間前の 9 月 13 日と 14 日に彼らと直接会い、エスペラントの指導を行うとともに、大会におけるボランティアの役割などについて説明しました。こうして大会に向けた準備を整えることができました。

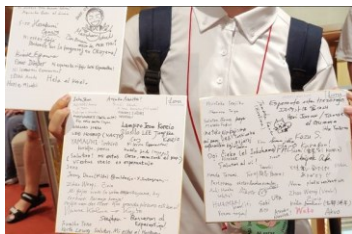
大会実行委員会の会議において、私たちは彼らを「ボランティア」で

はなく「胚芽 (Ĝermoj)」と呼ぶことに決めました。これは、彼らの今後の成長を期待し、温かく見守りたいという思いを込めたものです。また、1年以内にエスペラントを学び始めた19歳の大学生4名を加え、合計39名の若者が「胚芽 (Ĝermoj)」のメンバーとなりました。

3. 活動の成果

大会は9月20日(土)～22日(月)の3日間にわたって開催されました。1日目は18名、2日目は33名、3日目は8名の「ĝermoj」たちが参加しました。

彼らは大会運営に大いに貢献してくれました。たとえば、開会式の会場設営は驚くほど迅速に完了しました。



また、私の提案で「できるだけ多くの署名を色紙に集める」というゲームを行いました。(写真参照。一人で1日に80人以上集めた ĝermo もいました)。「名前集めゲーム」は大会全体に非常に良い効果をもたらしました。

4. 高校生および参加者の反応

多くの「ĝermoj」たちはほとんどためらうことなく、次々に参加者に話しかけていました。外国からの参加者に対しても臆することなく、明るく声をかけて署名を集めていました。当然そこには自然な会話が生まれ、交流の輪が広がっていきました。多くの生徒が簡単な言葉で一生懸命コミュニケーションを取ろうとしており、会場のあちこちでそのような光景が見られました。エスペラントを学んで良かったこと等を語ってくれた参加者もありました。多くの大会関係者が、参加者と「ĝermoj」たちの間に相乗的な良い雰囲気が生まれ、大会全体が温かな空気に包まれたことを実感しました。

大会終了後も、12名の「ĝermoj」たちがエスペラントの学習を継続しています。

5. 今後に向けての思い

何人かの生徒は次のような感想を寄せてくれました。

「私の会話力はまだとても低かったけれど、エスペラントで会話している人たちの雰囲気がとてもよく、不思議な感動を覚えました。」

次の大会で再びボランティアを募集する機会があれば、より多くの学校に案内を送り、ボランティアに対して大会前により長い期間エスペラントを教えたいと思います。

この「大会でボランティアを募る」活動が若いエスペ란ティストを募る手掛かりになるのではないのでしょうか。

初日（9/20）



二日目（9/21）



※大会の分科会のひとつ「若者の部屋」（21日）30人以上の ĝerموj が集まりました。日本及び海外からの若者も多く集まって来て、全部で50名以上の参加になりました。



Nara Esperanto-Societo kaj Societo en Nara por la honoro de Hasegaŭa Teru

(奈良エスペラント会 と 奈良・長谷川テル顕彰の会)

TAKEMORI Hirotoshi (Nara)

Mi fariĝis la prezidanto de Nara Esperanto-Societo en 2018. Komence, la Societo konsistis el mi kaj kvar gemaljunuloj, kiuj aktivis dum multaj jaroj. Post kelkaj monatoj aliĝis al nia societo tri novaj membroj: s-ino Nakaniŝi Toŝiko, kiu estas nevino de iu membro, s-ino Honda Terumi, kiu loĝas en Nara kiel individua membro de KLEG, Mijagi Kjoko, kiu estas la prezidanto de Societo en Nara por la honoro de Hasegaŭa Teru (mallongigo ĉi tie: Societo en Nara). Mi poste eksciis ŝian postenon.

Nara Esperanto-Societo unue komencis kunlabori kun Societo en Nara en 2022. Post kiam Rusio invadis Ukrainion, Societo en Nara redaktis tri protestajn deklarojn al Prezidanto de Rusio, Putin, kaj Nara Esperanto-Societo estis petita traduki ilin en Esperanton. Tio estis subita kaj tre malfacila, tamen tre grava peto, kaj kun la subteno de multaj homoj, la tradukado daŭris ses monatojn.

La sekvan jaron, en 2023, Societo en Nara kolektis donacojn de subtenantoj por starigi Monumenton memore al la vizito de Hasegaŭa Teru ĉe la templo Hannja-ĝi, kaj nia rondo tradukis la informilon pri la inaŭgura ceremonio en Esperanton kaj



Monumento Memore al la Vizito de Hasegaŭa Teru estas konsiderata kiel grava por esperantistoj.

Bonvolu viziti ĝin kiam vi venos al Nara.

Nara Esperanto-Societo gvidos vin tien.

dissendis ĝin al esperantistoj. Iu esperantisto el Ĉinio kaj liaj familianoj devis ĉeesti en la malferma ceremonio, kaj Societo en Nara kaj Nara Esperanto-Societo rapidis fari la preparojn. Ili alvenis al la flughaveno Narita, ĝuste en la tago de la inaŭgura ceremonio! Kiu ilin akceptos ĉe la flughaveno Narita? Kiel ili iros de Tokio al Nara? Kaj kie ili loĝos se ili irus al Tokio post Nara? Kiu akompanos ilin dum iliaj turismoj en Tokio? Danke al la klopodoj de multaj esperantistoj kaj aliaj koncernatoj, ni povis sekure bonvenigi la ĉinan familion kaj aranĝi ilian hejmvrevenon el Tokio. Tiun jaron, mi aliĝis al Societo en Nara. Kaj unu membro de Societo en Nara aliĝis al Nara Esperanto-Societo.

Antaŭulo de Societo en Nara estis membro de Alianco de Nacia Kompenso por Viktimoj de Leĝo por Publika Ordo, kiu malkovris kamaradon Hasegaŭa Teru inter la viktimoj de Leĝo por Publika Ordo en la gubernio Nara. Societo en Nara hazarde estis intervjuita de iu revuo kaj mi unufoje eksciis, ke multaj membroj de Societo en Nara havas parencojn, kiuj estis arestitaj pro suspekto de la sinteno kontraŭ Leĝo por Publika Ordo.

Notoj:

Nara Esperanto-Societo	奈良エスペラント会
Societo en Nara por la honoro de Hasegaŭa Teru (mallongigo ĉi tie: Societo en Nara)	奈良・長谷川テル顕彰の会
Monumento memore al la vizito de Hasegaŭa Teru	長谷川テル訪問記念の碑
la templo Hannja-ĝi	般若寺
Leĝo por Publika Ordo	治安維持法（1925-1945）
Alianco de Nacia Kompenso por Viktimoj de la Leĝo por Publika Ordo	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

長谷川テル顕彰の旅

森川 和徳（京都府乙訓郡大山崎町）

「奈良・長谷川テル顕彰の会」が企画した「第2回日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅」に参加しました。この旅行団は、10月13日から19日、中国の武漢市と重慶市を訪問しました。

長谷川テル（1912-1947）は日中戦争時に抗日ラジオ放送のアナウンスなどを行った反戦活動家です。テルは1938年に武漢市、1938～1945年に重慶市で活動しており、その足跡をたどる旅でした。

旅行団には28人が参加し、そのうちエスペ란ティストは9人でした。現地では、ガイド3人、バス運転手2人、記者2人が同行。旅行についての記事が次のURLなどで公開されています。

<https://japanese.cgtn.com/2025/10/28/ART11761655544405382>

この旅では、テルゆかりの場所を約10か所訪問しました。テルに関する説明文と写真の展示が武漢市や重慶市の複数の記念館や博物館にあり、中国政府がテルを革命烈士として称えていることがよくわかりました。それ以外に、武漢市と重慶市のエスペラント協会との交流、重慶爆撃の被害者との面談、重慶市人民政府外事弁公室への表敬訪問など、とても内容が充実したものでした。

この旅での Rondo Harmonia 関係者の活躍は次のとおりでした。

[敬称略]

- ・竹森浩俊：旅行団の団長を務められました。
- ・森川和徳：湖北省エスペラント会との交流会でのエスペラント通訳



湖北省エスペラント協会との交流会（10月14日）

信州大エスパーント研究会第 1 回同窓会を開催

山口 眞一（名古屋市）

信州大エスパーント研究会は 1973 年に創立され、1990 年に解散。この間 70 人以上の会員を迎えたはずだが、その多くは住所不明になっている。

とりあえずは連絡のとれる十数名に同窓会案内を送り、10 月 18 日（土）の夕刻から 8 人が集った。場所は、当時の信大学生御用達の居酒屋「しづか」。

初めて顔をあわせた人や 40 数年ぶりに再会した人も。各人が卒業後のこと、近況報告、エスパーントとの関わりなどを順番に語り、「あの人はいまどうしている？創立当初のようすは？」などの話題に盛り上がった。昔から酒豪の多かった信州大のこととて、半数のメンバーは深夜を過ぎて 4 次会にまでもつれこんだ。

これをきっかけとして、連絡の取れない人についても学部の同窓会名簿などで調査をすすめ、次回はより多くの参加をめざしたい。



エスペラントの冠詞について（3）

亭島 吉秀（大阪市）

エスペラントの冠詞は、今後、どのように進化（？）していくのか、について考えてみたいと思います。

エスペラントの歴史を見ると、エスペラントの普及につれて、エスペランティストが多くいる国・地域の民族語の習慣が、エスペラントに影響を与えてきた事実気づきます。francismo フランス語的表現、slavismo スラブ語風の言い回し（三宅小辞典）等の単語が辞書に存在していることが、その事実を裏付けています。冠詞についても、民族語特有の習慣が、同じように影響を及ぼしている可能性が考えられます。

冠詞は、ロシア語、ポーランド語、中国語の話し手をはじめ、母語に冠詞が存在しない、多くのエスペランティストを悩ませてきました。われわれ・日本語の話し手にとっても、冠詞の用法には、完全には理解できない部分があります。したがって、冠詞の使い方がよく分からないので、冠詞の使用を回避したいと考えるエスペランティストが、今後、増えてくる可能性があります。

冠詞の主な機能は、名詞の定（既知の情報）・不定（新しい情報）を、区別して表示することです。しかし、冠詞を使う代わりに、語順がゆるやかなタイプの言語では、名詞の置き場所によって、ある程度、名詞の定・不定を区別することができます。エスペラントは、語順の制約が少ないので、名詞の置き場所を変えて、定・不定を区別することは、可能です。例えば、次の文例は、いかがでしょうか。

Aŭto estas antaŭ mia domo	定・不定の両方が可能ですが、定の意味合いが強い
Estas aŭto antaŭ mia domo	定・不定の両方が可能ですが、不定の意味合いが強い

なぜなら、既知の情報が前に来て、新しい情報が後に来る方が、自然

に感じられるため、文頭に名詞が置かれた場合、この名詞は「定」と受け取られる可能性が大きいからです。

明示的に、定・不定を表わしたい場合には

（定）Tiu aŭto estas antaŭ mia domo. （不定）Estas unu aŭto antaŭ mia domo.
と書けます。

エスペラントの場合、上述のように、冠詞を用いなくても、定・不定を、表わすことは、ある程度は、可能です。しかし、そもそも、名詞の定・不定をことさらに区別して表示する必要があるのか、という疑問が、のこります。ザメンホフが、 ĝi (=artikolo) estas oportuna, sed ne necesa. （Dua Libro 1888, pvz, kajero 1, p.56 に所収）と述べた理由は、このことを指していると考えられます。

ザメンホフ自身は、エスペラントの文章においては、「簡単さと論理性」が重要であると考えていたことが、次の文章から、うかがえます。

La vera stilo Esperanta estas nek slava, nek germana, nek romana, ĝi estas — aŭ almenaŭ devas esti — nur stilo simpla kaj logika. （Respondo 1, La Revuo, 1906, Decembro, Lingvaj Respondoj 1962 年版に所収, 119 頁）

この趣旨からすれば、冠詞をめぐる問題についても、簡単さという点を重視して、「冠詞を用いる代わりに、名詞の置き場所で、定・不定を表示する」という用法も、エスペラントの進化の一つの方向性を示している、のではないのでしょうか。

スペイン語の冠詞について、インターネット上で、面白い記事を見つけました。（定冠詞 el の起源、<https://tsutapino.com/archives/58>）同記事によれば、「冠詞は初期のスペイン語において、主語のマークとしての側面が強かった」と記し、「初期のスペイン語では、冠詞はもっぱら主語につけられていたので、el ないし un がついているものが主語、ついていなければ主語ではない、という判定ができるわけです」と述べています。さらに、「今のスペイン語では目的語や前置詞句内の名詞にもつくようになっており、学習者や私の悩みの種になっている」と記し、「現代スペイン語では、基本的に主語には冠詞、指示詞、数詞など、なにかしらをつけることが必須」と述べられています。

ところで、「冠詞とは何か」というテーマに関する興味深い論考がありました。その要旨を引用すると、次のとおりです。

「冠詞というのは、その典型的な機能が文脈依存的であるために文脈からの予測可能性が高く、また、冠詞という形式を利用しなくても、種々の手段で冠詞の機能を代替できる。そのため、人類言語にとって、冠詞というのは、それほど必要性の高い項目ではなく（少なくとも義務化する必要性は低く）、むしろ限られた言語において、しばしば言語連合的に発達した言語形式とみるべきであろう。」（山本秀樹、「言語にとって冠詞とは何か」、『言語』セクション第1巻に所収、140頁、大修館書店、2012年）

【筆者注】 言語連合とは「一定地域に共存する諸言語間に認められる、系統上の親縁性を超えた音韻・文法範疇の類似を説明するために、（ヤコブソンが）トルベツコイとともに唱導した概念」 世界大百科事典（旧版）、平凡社。

アントワヌ・メイエというフランスの言語学者（1866～1936）が、言語学者としてはめずらしいことですが、人工語に言及し、エスペラントについて論じています。（「ヨーロッパの言語」、岩波文庫、2017年）

「まず始めなければならないのは、すでに行われた試みを綿密に検討し、不完全な点をみな修正することであろう。ヨーロッパ人だけでなく、たとえば東方世界の人々や日本人、中国人が国際語を勉強する際の困難を考慮に入れる必要があるだろう」（同書、467頁）

ここで述べられている「日本人、中国人が国際語を勉強する際の困難」に、冠詞の問題が含まれることには、多くの日本人エスペランティストが同意されると思います。

（終）

最近出版されたハードカバーの本

今年 9 月にエスペラント関係のハードカバーの本（日本語書き）が 2 点発行されました。Amazon などで購入できます。

危険な言語 - エスペラント弾圧と迫害の歴史

Ulrich Lins 著、石川尚志・佐々木照央・
相川拓也・吉田奈緒子・臼井裕之訳
国書刊行会、2025 年 9 月、A5 判 496 ページ
価格 3,600 円＋税

エスペラント原作 La Danĝera Lingvo の日本語訳は 1975 年に岩波新書で発行されました。今回の本は、原作の 2016 年改定版の日本語訳です。

エスペラントはヒトラーとスターリンの独裁下で弾圧されました。エスペラント運動がたどった苦難と再生の道のりと、この言語の理念に魅せられた人たちの運命を描いています。



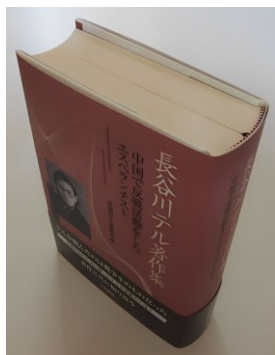
長谷川テル著作集 - 中国で反戦活動をしたエスペランチスト

長谷川テル著、長谷川テル研究会編：寺島俊穂、
蒲 豊彦、富田成美、西田千津、田熊健二
三和書籍、2025 年 9 月、四六判 840 ページ
価格 6,500 円＋税

長谷川テル (1912-1947) は 1932 年にエスペラントを学び始め、短期間で習得し、1933 年以降ほとんどの著作をエスペラントで書いたエスペラント作家です。この本の大部分は、エスペラント著作の日本語訳です。

34 年という短い人生でしたが、テルは著書二冊、訳書一冊、雑誌記事多数を残しています。テルの作品群は、短歌、小説、論説、散文詩、評論、翻訳など多分野にわたり、執筆時期は 1931～37 年の日本時代と 1937～45 年の中国時代に分かれます。

この本の第Ⅰ部に「戦う中国で」、第Ⅱ部に「嵐の中からささやく声」、第Ⅲ部に日本時代の著作、第Ⅳ部に中国時代の著作が載っています。



近 況

三浦 伸夫 (神戸市)

miuranob@iris.eonet.ne.jp

ここ数年エスペラントに触れたものを出しましたが、あまり知られていないようですので記しておきます。

・雑誌『現代数学』（現代数学社発行）は、高校生・大学生、数学教師・数学愛好家向けの月刊数学雑誌です。一般書店で販売されているもので、多くの人が目にする雑誌なのですが、そこにエスペラントが見えることにはなかなか気づかれないようです。表紙をご覧ください。毎号表紙に雑誌名がエスペラントで書かれています。目立つのですが…。



・冒頭には「今月の数学者」という連載記事を書いています。その表題もエスペラントで書かれています。エスペラント関係の数学者は少ないので、内容自体



はエスペラントとは関係ないのですが、ただし、福原満洲雄（1905–2007）を取り上げたときは、神戸大学数学科図書館所蔵のエスペラント書き講義ノートなども紹介しています（福原文庫として保管）。なお、神戸大学数学科は、Funkcialaj Ekvacioj（函数方程式）というエスペラント名がタイトルの欧文国際数学雑誌（1958–）を出しているところまで有名で、この雑誌は海外の大きな大学にはたいがい所蔵されています（図は1958年発行の第1号）。この雑誌編集に関わったのが著名な数学者 福原満洲雄や南雲道



夫たちで、彼らの多くは当エスペラントで論文を書いていました。現在この雑誌の収録論文は英文ですが、表題は当時のままのエスペラント書きです。

- ・『現代数学』2024年5月号には、「輝数遇数」という連載記事で私が取り上げられました。取材記事ですが、名古屋大学でエスペラント・クラブを創設した頃にも話が及びます。

- ・2022年にはNHKラジオ第2の「こころをよむ」というシリーズで、「数学者たちのこころの中」という13回の番組があり、第8回「バロックの万能人——ライブニッツ」でエスペラントの名前に触れました。聴取されたエスペ란ティストからメールを頂きましたので、すでにご存知かもしれません。テキストは絶版ですが、そのうちに文庫本が出る予定です。

- ・近刊予定の(仮題)『近代数学の多元的展開—数学史を文化から読む』(現代数学社)、第12章「数学者と国際語：ジュセッペ・ペアーノ」では、国際補助語「格変化なしのラテン語」を中心に、ヴォラピックやエスペラントに触れています。以前の『現代数学』掲載記事を改編再録したものです。

- ・2025年10月26日に「日本数学協会オンライン講座」で、講義5『数学者と共通語』を開催しました。要項は「現代の数学者は国際的な場において英語で発表することが多く、英語が数学界の共通言語となっている。17世紀のニュートンの時代にはそれがラテン語であった。その後、数学者たちは自国語で発表するようになり、言語の多様化によりコミュニケーションの齟齬が生じるようになった。こうした状況から、国際共通語の必要性が強く意識されるようになっていく。この問題はビジネスと科学の双方にとって極めて重要な課題であった。本講義では、17世紀から20世紀初頭までの数学コミュニケーションの変遷を、数学者の言語思想やその実践を視野に入れつつ追っていく」。1900年のパリ開催の国際数学者会議では発表言語をエスペラントとする案が出されました。その背景について数学史的に説明する内容です。

- ・数学史を専門としていますので、その関係で参照する文献には共通語、人工語についての問題がしばしば出てきます。そういったことに気づくこの頃です。

以上、最近のエスペラントとの関わりについて書いて近況報告とします。

ChatGPT を使ってみた

田中 昭（豊中市）

皆さんご存じの La feino を何度も読み返し自分なり解釈していますが、最近流行りの ChatGPT を使ってこの日本語訳と質問を行いました。参考になれば幸いです。La feino の全文を ChatGPT に貼り付け翻訳と質問を行いました。回答されますが、「ChatGPT の回答は必ずしも正しいとは限りません。重要な情報は確認するようにしてください。」とのコメントがありますので、ご承知おきください。以下のように質問しました。なお原文、翻訳とも紙面上「中略」しています。

（質問内容、プロンプトと言われます）

以下の文章は、エスペラント語です。創始者ザメンホフ博士原作の「妖精」という作品です。日本語に翻訳してください。また作品には一人の未亡人とその姉妹、妖精が現れます。誰が一番性格が悪いか教えてください。できればその理由もお願いします。

La feino Unu vidvino havis du filinojn. La pli maljuna estis tiel simila al la patrino per sia karaktero kaj vizaĝo, ke ĉiu, kiu ŝin vidis, povis pensi, ke li vidas la patrino; ili ambaŭ estis tiel malagrablaj kaj tiel fieraj, ke oni ne povis vivi kun ili.

（中略）

La reĝido konsideris, ke tia kapablo havas pli grandan indon, ol ĉio, kion oni povus doni dote al alia fraŭlino, forkondukis ŝin al la palaco de sia patro, la reĝo, kie li edziĝis je ŝi. Sed pri ŝia fratino ni povas diri, ke ŝi fariĝis tiel malaminda, ke ŝia propra patrino ŝin forpelis de si; kaj la malfeliĉa knabino, multe kurinte kaj trovinte neniun, kiu volus ŝin akcepti, baldaŭ mortis en angulo de arbaro.

Fino

（以下に回答されました、一言能書きを言ってから回答されました）

ChatGPT:

素晴らしい作品の選択ですね。これはザメンホフ博士がフランス民話

をもとに書いたエスペラント童話「La feino（妖精）」で、善と悪、謙虚さと傲慢さの対比を描いた寓話です。

以下に日本語訳と、誰が一番性格が悪いかの分析を示します。

妖精（La feino）

ある未亡人が二人の娘を持っていました。

年上の娘は、性格も顔も母親にそっくりで、見る人が皆「まるで母親そのものだ」と思うほどでした。二人ともとても不愉快で高慢であり、一緒に暮らすのが難しいほどでした。

（中略）

王子は、「この娘は誠実で、宝石よりも価値のある心を持っている」と思い、彼女を王宮へ連れて帰り、妻にしました。

一方、姉の方は――

あまりにも意地悪で誰からも嫌われ、ついには母親自身にも見放されて家を追われ、森の片隅で孤独に死にました。

終わり

○誰がいちばん性格が悪い？

登場人物の中で「性格が最も悪い」のは――

 **母親（未亡人）**です。

理由：

1. 根本的な原因を作ったのは母親

- 娘たちを不公平に扱い、愛情を偏らせ、差別を生んだのは母親です。
- 優しい娘を奴隷のように扱い、意地悪な娘を甘やかしました。

2. 嫉妬と貪欲

- 宝石を見た瞬間、娘の人間性よりも「利益」を優先しました。
- 妹を妬み、姉を利用して妖精の力を自分の利益にしようとした。

3. 暴力的で短絡的

- すぐに怒鳴り、娘を殴ろうとする。
- 最後には自分の行いが原因で、二人の娘をともに不幸にしています。

参考比較：

登場人物	性格	評価
年下の娘	優しい・誠実・謙虚	善の象徴
年上の娘	高慢・無礼	悪ではあるが母の影響が大きい
母親	差別的・暴力的・貪欲	最も性格が悪い
妖精	公正で教育的	中立・正義の象徴

以上の通り翻訳され、登場人物についての評価もされました。
 ChatGPT は母親が最も悪いと回答していますが、私は正義面をしている妖精が最悪と思います。確かに年下の娘はハッピーエンドですが、母親、年上の娘は哀れな結末を迎えました。妖精がチョッカイを出さなければ、姉の孤独死も起こらなかった可能性もあります。家庭に入り込み娘たちを個別に「試す」という失礼を行っています。妖精の一方的な正義感に問題があったと思いますが・・・



La pli juna filino donas
al la feino akvon



La pli juna filino
renkontas reĝidon

Wikipedia より

La Harmonio アーカイブについて

La Harmonio 213 号（2007 年 9 月発行）以降はネット上で PDF ファイルで次のアドレスに公開しています。

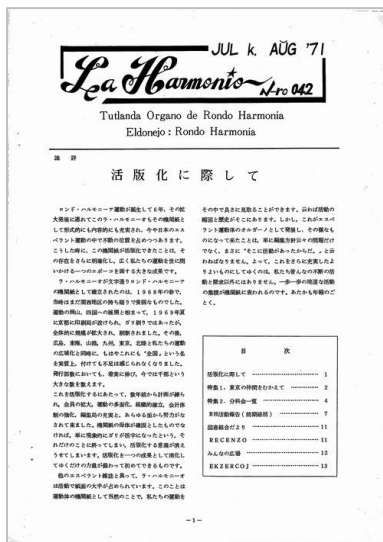
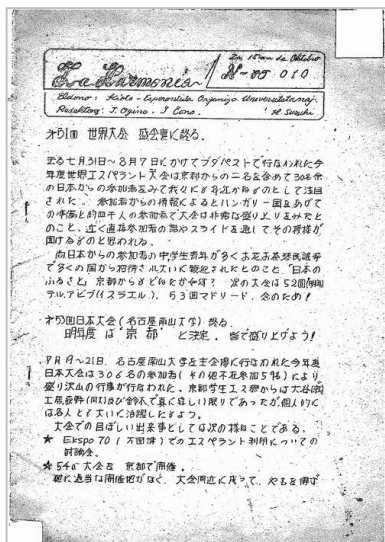
http://esperanto.jp/arkivo_harmonio.html

これとは別に、1966 年以降の La Harmonio の古い号をスキャンして PDF ファイルにして、2022 年 4 月に La Harmonio アーカイブを作成しました。アーカイブに保管しているのは、10 号（1966 年 10 月発行）～13 号（1968 年 7 月）、16 号（1968 年 12 月）～251 号（2024 年 11 月）、全文エスペラント La Harmonio の 1 号～8 号（1971～1977 年）です。7 号（1966 年 6 月）は 1 ページ目だけあります。初期の 1 号～9 号・14 号・15 号はありません。

このアーカイブは RH 会費を納入された方々に公開しています。

La Harmonio の古い号には個人情報がありますので、閲覧したい方は「La Harmonio の PDF ファイルは、個人の閲覧でのみ使用し、第三者には渡しません。」旨を表明していただいています。RH 入会年と入会時のロンドもお知らせください。

ご希望の方は森川 (kz_morikawa@yahoo.co.jp) までご連絡ください。



10 号 (1966 年 10 月)

42 号 (1971 年 7-8 月)

エスペラント活動の思い出

とうの
東野 正明（兵庫県多可郡多可町）

学習開始1年後の1970年の夏休みのことです。RHの若い男女20人から30人が、兵庫県多可郡加美町的場の金蔵寺にやってきました。京都市を中心とする関西一円の市民や大学生のグループでした。神姫バスの「月が花」停留所で下車した一行は、寺内集落を経て的場集落に入り、杉坂を上り、峠から右折して金蔵寺裏参道を登りました。現在のような自動車参道はなく、狭い山道でした。下車して約4キロメートル、歩いて1時間の行程です。

いくつかのクラスに分かれたエスペラント学習をしました。一泊して2日目の午前中に、「京都やったら、今頃はもう暑いのに、ここは涼しいね!」という妙齢の女性に、皆さんが頷いていました。冷房は勿論、扇風機すらない時代でした。海拔400メートルの山寺の2日間を楽しんでいただいたようでした。

こんなことがありました。1日目に、的場集落から杉坂峠に向かう道で農作業に従事している沢山の人々から声をかけられました。「こんにちば」、「今日は、何ですか?」、「どこから来たったん?」等々、的場の人は、時ならぬ若者男女の集団を見て、気安く挨拶をしてくれました。物珍しそうでした。先頭を歩いていた顔見知りの私を見て、農作業の人々は興味津々でした。そんな時に、京都女子大学の同年配の人が、「東野さん、故郷に錦を飾る気分でしょう!」と言いました。言い得て妙な表現でした。「志をはたして、いつの日にか還らん」と唱歌「ふるさと」の一節が頭をよぎった記憶があります。

その後、学生生活を終えた私は、1976年4月に故郷へ帰還しました。高校教員17年と金蔵寺住職27年を経て、2020年10月に金蔵寺名誉住職となりました。

最初に赴任した高校では、エスペラント部を創る意志は明確にありましたが、諸般の事情で教職勤務時代には果たせませんでした。1999年に金蔵寺Webサイト (<https://www.eonet.ne.jp/~kanakura/>) をアップロードしました。日本語のページのほか、横文字のページには躊躇なくエスペ

ラントを使いました。様々なリンク集に取りあげられました。やがて、視覚障害になり、サイトの更新も 2013 年に止まっていますが、現在も有効なサイトです。

2023 年は、多可町生涯学習講座短期講座で「エスペラント入門講座」、2024 年は、通年の講座で「エスペラント初級講座」を担当することになりました。2025 年には「国際語エスペラント講座」として現在進行中です。

3 年前に久し振りに JEI（日本エスペラント協会）に連絡を取りました。La Revuo Orienta 誌には 3 度も書かせていただきました。折から原稿募集をされていた La Harmonio 250 号（2023 年 10 月）にも「エスペラントと私」を投稿しました。「日本仏教徒エスペランチスト連盟」からも連絡をいただきました。嬉しかったです。

2024 年 6 月末に京都市国際交流会館で開催された「関西エスペラント大会」に参加しました。2023 年以来、メールや電話で連絡を取っていた人は全員初対面でした。皆さんは、私を温かく迎えてくださいました。まさに、「ネニーエ・セッド・チーエ・エスタス・エスペラントウーヨ」を実感した 2 日間でした。残念だったのは、かつての RH の大学ロンドや私が属していた京都市民ロンドの知人には、一人も出会わなかったことです。「不在参加」の知人を一人見つけて、ホッとしたものです。帰宅して、電話やメールを駆使して、あの頃の知人一人に連絡を取ることができました。電話で話をするのは実に 50 年振りでした。この 1 歳上の先輩は、私や金蔵寺での合宿を覚えていました。以来、メールを通じて交信しています。

その後の大会参加などを通じて新しい知人が増え、昔の知人とのお付き合いも少しずつ復活しています。サボりの私が言うのはおかしいかも知れませんが、昔を思い出して語りましょう。エスペラントの現役でなくなってもいいじゃありませんか。共にエスペラントに生きた青春時代を思い出して、連絡を取り合いたいものです。

（終）

<< 編集後記 >>

2025 年は RH としての活動がなかったので、本号では、RH 会員の大会参加報告や感想を中心に、最近のエスペラント運動を紹介しています。多数の方々から原稿をお送りいただきました。ただし、エスペラント文が 1 件というのは残念でした。

本号は、RH 運動に関係された約 300 人に送付しています。このうち、102 人が 2025 年 RH 会費をすでに納入していただきました。もっと多くの方々が RH 会費を納入されることを期待しています。

★ 次号発行日

次号 253 号は 2026 年 11 月を予定しています。2026 年 10 月 31 日までに原稿を編集部（下記の森川）宛てお送りください。皆さまのご寄稿をお待ちしています。

★ 本誌 La Harmonio の PDF ファイル

213 号（2007 年 9 月）以降の PDF ファイルを公開しています。

Arkivo de La Harmonio

http://esperanto.jp/arkivo_harmonio.html

La Harmonio 252 号 2025 年 11 月 20 日発行

編集発行 Rondo Harmonia（国際語教育協議会）

* 組織委員会書記局・La Harmonio 編集部・財務担当

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎尻江 13-8 森川和徳

電子メール kz_morikawa@yahoo.co.jp

* ウェブサイト <http://esperanto.jp>

* RH 会費（会計年度 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）

◇ RH 会員お一人の場合

維持会費 年 600 円

◇ ご夫婦とも RH 会員の場合

維持会費 + 家族会費 年 900 円（600 円 + 300 円）

* 会費払込先

振替口座 01040-2-27937 加入者名「森川和徳」

楽天銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」